

2026 年度 大学院 3 月入試（スポーツ・健康科学専攻）

修士課程（前期）

「専門科目（スポーツ科学領域・健康科学領域）」

---

【合否判定の方法】

《外国語（英語）科目》《専門科目（スポーツ科学領域・健康科学領域）》《面接試験》

提出書類および外国語科目試験、専門科目試験、面接試験の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

提出書類および各試験の結果を総合的に評価し、これまでの研究結果や大学院修士課程における研究計画の妥当性および研究遂行能力を有しているかを判断する。

1 試験日 2026 年 3 月 5 日

2 科目 「専門科目（スポーツ科学領域・健康科学領域）」（各100点満点）

※領域を選択

3 出題意図

・スポーツ科学領域の出題意図

設問前半部の「トレーニングの5原則をそれぞれ説明した上で」では、意識性・個別性・漸進性・反復性・全面性の各原則について、その定義および内容を正確に理解しているかを確認することを目的としている。後半部の「特定の競技能力を向上させるためには、専門的な技術練習のみならず、筋力・パワー・柔軟性などの全身的な体力要素をバランスよく高める必要がある理由を論じなさい。」では、トレーニングの5原則に関する知識を実際のスポーツ現場に即して応用し、理論と実践を関連付けて説明できるかという応用力・統合的思考力を評価することを目的としている。

・健康科学領域の出題意図

本試験では、健康科学分野における高度な研究能力と専門的素養を評価するために、以下の3つの観点から出題を行っている。

（１）科学的根拠に基づく分析力

提示された統計データや数値から、客観的な事実を抽出・解釈し、論理的な裏付け（エビデンス）を持って事象を説明できるか。

（２）多角的な病態・課題理解

個別の疾患や健康課題に対し、生物学的・生理学的な機序だけでなく、社会背景やライフス

タイルといった多因子的な視点から考察できるか。

(3) 実践的な解決策の提案力

専門職として、個人のウェルネス向上や社会全体の健康課題解決に対し、倫理的かつ実現可能な介入策（ヘルスプロモーション、多職種連携等）を立案できるか。

以上